

第 117 回お隣さまお茶会 食から人生を充実させる秘密

食から人生を充実させてみませんか？
経験豊富な管理栄養士がお伝えします♪

講師：長田 まき子（PON：管理栄養士）

日時： 1 月 19 日（月）

13:30 ～ 15:30

場所： スペースえんがわ inn

世田谷区玉川田園調布 2-12-6

参加費：500 円（資料 お茶菓子代）

連絡先：03-3721-8699

090-4735-3277

第 91 回ここからカフェ九品仏 内容未定

日時： 1 月 31 日（土）

13:30 ～ 15:30

場所： 九品仏複合施設 2 階

参加費：300 円（お茶菓子代）

連絡先：090-4735-3277（湯澤）



お近くに、玉川まちづくりハウスの活動にご興味のある方がいらっしゃいましたらご紹介下さい。また、みなさまのご意見が玉川ハウスの糧です。ぜひお声をお寄せ下さい。

1 月号にかかわったひと	伊藤雅春	小西玲子
	柴田希美絵	池田麻未
	昆野敬子	

ハウスの会員数

特別正会員	5 名
正会員	25 名
ニュース会員	42 名



ハウスカレンダー

12

（これは予定です。詳細は玉川まちづくりハウスまでお問い合わせ下さい。）

- 3 日（水） プレーリヤカーでの公園遊び / 奥沢（タイヤ）公園
- 4 日（木） 楽多の会定例会 / 奥沢地区会館料理講習室
- 8 日（月） 住宅まちづくり総合相談 / 世田谷総合支所
- 11 日（木） 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
- 12 日（金） 玉川まちづくりハウス定例運営委員会
玉川まちづくりハウス第 26 回総会 / えんがわ inn
- 14 日（日） 玉田シニアサロン / 玉川田園調布会館
- 15 日（月） お隣さまお茶会 / チャームプレミア田園調布
- 16 日（火） プレーリヤカーでの公園遊び / ねこじゃらし公園
- 20 日（土） ここからカフェ九品仏 / チャームプレミア田園調布
- 21 日（日） タマデンマルシェ / アビターレ前（玉田 1-13-1）
- 25 日（木） 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所



2026 年

1

- 8 日（木） 楽多の会定例会
10:30 ～ 12:00 デイ・ホーム玉川田園調布
住宅まちづくり総合相談
13:30 ～ 15:30 玉川総合支所
- 16 日（金） プレーリヤカーでの公園遊び（タイヤ公園）
10:00 ～ 12:30 奥沢公園
- 18 日（日） タマデンマルシェ
11:00 ～ 15:00 アビターレ前（玉田 1-13-1）
- 19 日（月） お隣さまお茶会
13:30 ～ 15:30 スペースえんがわ inn
- 20 日（火） プレーリヤカーでの公園遊び（ねこじゃらし公園）
10:00 ～ 12:30 ねこじゃらし公園
- 21 日（水） 世田谷区採用 2 年次職員研修
10:00 ～ 12:00 未定
- 22 日（木） 住宅まちづくり総合相談
13:30 ～ 15:30 玉川総合支所
- 29 日（木） 世田谷住宅相談ネットワーク会議
10:00 ～ 12:00 世田谷区役所
- 31 日（土） ここからカフェ九品仏
13:30 ～ 15:30 九品仏複合施設 2 階





no.362

発行 特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス

〒158-0085

東京都世田谷区玉川田園調布2-11-10

tel.03-3721-8699 fax.03-3721-8986

Email house@tamamati.com

URL <http://www.tamamati.com>

玉川まちづくりハウスは、住民主体のまちづくりをお手伝いする特定非営利活動法人（NPO法人）です。

新年のご挨拶 ～これからの10年～ケアするコミュニティを目指して～

2025年12月12日（金）スペースえんがわinnで特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス第26回総会が開催され、事業報告、決算報告、事業計画、予算計画等、すべての議案が可決されました。ご出席のみなさまありがとうございました。

ハウスの活動は、任意団体のころを含めると、今年で35年を迎えます。改めて今後10年の活動の目標を考えています。

最近「地域主権という希望」1)と「ケアからはじまるコミュニティ」2)という二つの本に出会い、「ケアするコミュニティづくり」にこれからの、残された10年を託してはどうかと考えました。

この2つの本に書かれていることは、現在報道されている分断の世界観とは対極にあるような世界の話です。2つの相反する動向はいつの時代も同時に進行するもののようですが、どちらか一方の世界が支配的になるという単純な構造で世界はできていないようです。どちらの世界を選択して日々を生きるかがわたしたち自身に問われているのです。どちらも小さな地域あるいはコミュニティを対象としたリアリティに裏付けられた物語が述べられていますが、ムニシパリズムの再公営化※というアイデアと「ケアからはじまるコミュニティ」のコミュニティの事業化路線は、微妙に公共とコモンに対するビジョンが異なるようにも見えます。さてハウス、わたしたちの地域が目指す「ケアするコミュニティ」はどのようなビジョンにたどり着くことになるのでしょうか。

隣人愛に基づく「ケアするコミュニティ」構想が、地域主権すなわちコミュニティ・デモクラシーの理念を前提としてどのように実現できるかを、今後10年間の玉川まちづくりハウスのミッションと位置づけ活動を展開したい。

隣人愛という言葉はケアの思想にも通じるところがあり、より深く探求できればと考えています。現時点では価値観や常識の異なる人達ともできるだけ広く気づかい合って暮らすといった意味で使っています。今後どのような「ケアするコミュニティ」を実現していくことができるかお付き合いいただけると嬉しいです。

最近、町会の一連のコミュニケーションの場がとても楽しい時間だと感じています。以前よりも真剣な話し合いと自発的な活動が生まれてきていると感じています。コミュニティ・デモクラシーの現場が確かに実現しつつあるのではないかと実感しています。

こうした思いに至るまでに、玉川まちづくりハウスがコミュニティ・マネジメントを実現するため関係を育ててきた組織は、「玉川田園調布会」「玉川田園調布住環境協議会」、「在宅ケアを語る会」、「街角保健室」など。加えて熟議の『場』として「玉田シニアサロン」、「お隣さまお茶会」、「防犯パトロール隊懇親会」、「タマデン・マルシェ」、「九品仏アートフェスタ実行委員会」などです。

これらの組織と熟議の『場』を手掛かりとしてこの地域ならではの「ケアするコミュニティ」ビジョンを実現していくことがこれから10年間の目標であると覚悟を決め、ハウスの活動を続けていきたいと思っています。

運営委員長 伊藤雅春

※ムニシパリズムの再公営化

ムニシパリズム（地域主権主義）における「再公営化（リムニシパライゼーション）」とは、かつて民営化や外部委託された水道、エネルギー、交通、介護などの公共サービスを、再び自治体の直接運営や公的管理の下に戻す動きを指します

1) 地域主義という希望

～欧州から杉並へ 恐れぬ自治体の挑戦～
岸本聡子 著

2) ケアからはじまるコミュニティ

～オランダの小さな村に学ぶ～
吉良森子 著